

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「失敗は成功のもと」

仕事を始めて「失敗は成功のもと」と言う言葉を実感できることが増えてきた。私のクラスの子どもたちの中には、「できなさそうだからはじめからしない。」や「やったことないからしない。」など初めてだとなかなか挑戦しようとしないうちにいる。確かに私も小学生の時には「テストは満点でないといけない。」や「できないといけない。」と、思ってしまう完璧を求め、失敗を恐れていたことがあった。挑戦しようとしていなかった。

社会人になり仕事を始めると色々な初めてのことに会う機会が多い。その中で「失敗は成功のもと」という言葉が好きになった。例えば、授業の中でタブレットを使う場面を考えていた。教具やアプリで準備をし、授業の流れを自分の頭の中で考えた。しかし、実際に子どもたちに授業をしていくと、予定通りにはいかなかった。タブレットを使ったことで、教室の中が「先生どこ押したらいいのかわかりません。」の言葉が飛び交っていた。私は、授業後に反省した。事前にタブレットの使い方を練習しておく必要があったんだと気づくことができた。失

敗は成功の糧。失敗したからこそ問題に気付いて、次に活かすことができるのだと気付けた。

担任してきた子どもたちの中には「失敗はいけないこと」と無意識のうちに思ってしまった子がいたので、結果より取り組むことの大事さを伝えることと、失敗したときの声かけを大事にしてきた。例えば、漢字テストで思うような点ではなかった子どもには、「自分がわからない漢字がわかっただけよかったね。」と声をかけるようにしている。挑戦したからこそ気付けたことがある。間違えることはいけないことではなく、自分のプラスになることと感じてほしくて前向きな声かけを心掛けていく。

今後もし失敗を恐れず、そこには成功するためのヒントが隠されているという考えをもっていろいろなことに挑戦して欲しい。そして、私自身も挑戦していきたい。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

奥津小学校 瀬島なつき

のびのびひろば

《4歳児》



先生に読んでもらったり、友だちと読んでいたりしています



このおもちゃ、スカートみたい！



絵本の中の「もちのくるまを粘土で作ったよ！

もちのくるまに乗ったよ！

今月はどんなお話かな？

芳野こども園では、各年齢に合わせて月刊で絵本を保護者の方に毎月購入していただいています。毎月の絵本の紹介と、子どもたちが絵本を通して感じたつづきや、イメージを膨らませて遊んでいる様子を保護者の方へ絵本だよりや掲示でお伝えしています。

友だちや先生と同じ絵本の世界を共有することで、喜びや悲しみ、感動などの様々な感情体験をすることができます。その中で豊かな感情と思いやりの心が培われるとともに、クラスの連帯感や友だちとの心のつながりが育まれていきます。

これからも、子どもたちの感情がますます豊かになるように、絵本の世界を心躍らせながら共に楽しんでいきたいと思えます。



絵本の中に入ったみたい♪

家族の方とも楽しい時間を共有♡
話題も広がり、家庭と園がつながっていきます。

《2歳児》

たまごのふりかけが好き！



(最後の決め台詞) ごっちゃんです！



パッパッとするので♡



ふりかけごはん、園でもお家でも喜んで食べました♪

(芳野こども園)

月刊絵本は月末に持ち帰ります♪